

# 令和3年度 学校関係者評価報告書

愛媛県立大洲農業高等学校

学校番号 31

評価実施日		書面開催（令和4年2月10日資料送付）	
	氏名	所属等	備考
委員	青井 斗志男	学校評議員（JAたいき・総合企画室長）	団体職員
	宇都宮 幹人	学校評議員（老人保健施設フレンド事務長）	会社職員
	上田 弘	学校評議員（大洲隣保館 館長）	
	中野 八千代	学校評議員（大洲市立東大洲こども園 園長）	公務員
	丸井 幸造	学校評議員（愛媛県農業指導士会 副会長）	
	竹本 親由	大洲市立喜多小学校 校長	
	櫛部 昭彦	大洲市立大洲北中学校 校長	
	上杉 茂	肱北公民館 館長	
	岡本 晋作	大洲農業高等学校 PTA会長	
	新口 英里	大洲農業高等学校 PTA副会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校経営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の為、様々な活動についてははかり制限されていた。そのような中、行事等については人数等の制限を行って、縮小しながらも様々な活動が行われていた。</li> <li>・ホームページでの情報発信を、学校周辺の地元へも情報発信をしてほしい（時折、プリント回覧等）。</li> <li>・感染症の状況が見通せず、学校行事など大変だったと思われるが、その中でも、行事を実施していただきよかったと思う。</li> <li>・「けじめと思いやりの心を育む学校」重点努力目標に挙げられているが、とても大事なことだと思う。また、十分に目標が達成できていると思われる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事や儀式等に参加することが難しい中、HPや各種たより等で学校のことがよく分かり、有り難く思っている。「どこに出しても恥ずかしくない人間になれ」「国家社会の役に立つ人間になれ」という校訓の下、今年度の努力目標である「生徒一人ひとりの夢や希望を叶える教育の推進」を達成するための様々な活動がなされており、感心する。</li> <li>・学校の特性を生かして、地域への貢献度も高く、今後も継続して取り組んでもらいたい。</li> <li>・全体的に気になるところは特にない。コロナ禍で大変な中、生徒たちが学校生活をおくるようにご尽力いただいている先生方に感謝している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した活動が今年度も新型コロナウイルス感染症のため、制限された。しかし、そうした中においても感染症対策を十分行うことによって、農業祭や公民館等でのフラワーアレンジメント教室などを関連機関と協力して開催することができた。次年度も、感染症の状況にもよるが、その対策を徹底して行うことにより地域との連携した活動を実施していく。またICT機器が整備され、リモートによる校内での各種行事を実施したのでその経験を活かして、校外の各種団体との交流を深められるようにしていくことが必要である。</li> <li>・ホームページの更新が後半十分ではなかった。教職員各自が月に1回程度はホームページに自分の分掌についての記事を載せるなど、学校の魅力の発信に努める。</li> <li>・定期刊行物の近隣の地域への配布・回覧については地域の公民館等に連絡を行い、可能かどうか早急に検討する。</li> </ul>
<p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・端末が一人一台になり、各々が実際に活用することで興味を持っていたのはよかったと思う。実社会でも、コロナの影響により非対面でのコミュニケーションの取り方が重要になってくる。</li> <li>・生徒一人ひとりに端末が行き渡り、活用されている様子が良く分かる。先生方は大変だったと思うが、コロナ以外の状況下でもICT機器を活用し、先生方の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末の有効活用ができるよう、教員間での研修会を行っていく。また、コロナ禍において学校が休業となった際の生徒の学びの保障のためにICT機器を使った授業展開ができるようにする。</li> <li>・現在、朝の健康観察、生徒による授業評価等は端末を活用している。また、教室での授業のみならず実習においてもICT機器を活用した授業を進めている。</li> </ul>

<p>業務負担軽減、生徒の学力等の向上につながれば良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導ではなく理解度別の学習を進め、学習への意欲を高める（できた、わかった成功感）。</li> <li>・ICTを使用しての授業を参観させていただき（研究指定校発表会）よかったと思う。時代にあわせて変化していることを感じた。</li> <li>・漢字・計算は学習の基礎・基本であり、小・中学校では重視して取り組んでいるが、高校でも漢字・計算テストを実施していることに基礎学力の定着を図っていることが分かった。</li> </ul>	<p>動画を撮影し、お互いが視聴できるようにデータの共有を行ったり、課題プリントの配布などを積極的に行ったりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生徒が入学してきており、より細やかな指導ができるよう1年生では数学、英語、2年生では数学、英語、理科で習熟度別授業を行っている。また、国語においては少人数でのクラス編成を行い、分かる授業を行っている。さらに、個々の学力を伸ばすために、進学補習の実施や漢字検定、英語検定等の資格取得に向けた指導を来年度も行う。</li> <li>・本校では読み、書き、計算の学習の基本を徹底して行っている。読み書きについては、漢字テストを年間13回、計算については、数学計算テストを年間7回実施しており、事前学習も含めて基礎学力の定着を図っている。</li> </ul>
<p>3 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも元気な挨拶で元気を分けていただいている。</li> <li>・言葉遣いや挨拶が良いと思う。コロナ禍で生徒さんは行動の制限等もあり、ストレスもたまりやすくなっていると思う。気を遣われながらの家庭訪問は先生方の負担になると思うが良く実施されていると思う。</li> <li>・言葉遣いや挨拶がよくできていると思う。できない生徒には、世間や社会に恥ずかしいことを教えてほしい。社会性を大切に育てていただきたい。</li> <li>・気持ちの良い挨拶ができていてうれしい。「あいさつ」は基本である。これからも大切にしてほしい。</li> <li>・コロナであまり学校に行く機会はないが、農業祭の時、気持ちの良い挨拶をしてもらったこと、登校時の挨拶などよいと思う（朝、登校指導をしている際）。</li> <li>・学校に行ったときも、挨拶をよくしてくれて気持ちが良い。服装や交通マナー等もきちんとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやかなあいさつや正しい言葉遣いができるよう、登校指導や学校行事、普段の学校生活など、富士会や部活動とも協力しながら進めていく。</li> <li>・基本的な生活習慣の確立は、学習意欲や体力・気力の向上に繋がる。今後も粘り強く、指導していく。</li> <li>・校外における生徒の行動については、地域の方々から多くの意見をいただき、感謝している。今後も継続して大農生としての自覚を持った行動について指導する。</li> <li>・校内の人間関係上のトラブルや不登校事案については、早期発見と他者理解に努力していく。また、お互いを尊重し、注意し合えるように意識を高めていく。</li> <li>・情報機器の使用マナーやSNSの利用について生徒の実態に応じた指導方法を確立していく。</li> <li>・ヘルメット着用はほとんどの生徒ができていようだが、自転車の自損事故や接触事故は時々起きている。交通安全に十分注意させるとともに、もしも事故に遭った場合には適切な対応ができるよう指導していく。</li> </ul>
<p>4 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動は生徒の人間力を高め、自信を持たせる内容になっていると感じた。</li> <li>・実習やボランティア活動は、現状では難しいと思うが、状況が改善されれば、当施設へもぜひお願いしたいと思う。他校との交流により感染するケースも見られ、制限された中での活動は、生徒さんにとってもストレスにならないか心配である。</li> <li>・部活や行事は、社会性やルール学習の場であると思う。</li> <li>・さつま芋ほり等、子どもたちはとてもよい経験をさせていただき感謝している。</li> <li>・県の卓球高校選抜で、1年生女子の優勝を新聞で見てとてもうれしく思った。人数が少ない学校だが、部活もよくがんばっていることがわかった。（野球部も単独チームでよく頑張っていると思う。）</li> <li>・部活動の中には結果を出して活躍をしているものも</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対応のため昨年度実施されなかった県高校総体には48名の参加ができた。高文祭への参加は22名であった。生徒数減少の中、部活動に励む生徒は確実に増加しており学校を元気付けてくれている。また、全校生徒の部活動加入率は、98%であった。今後も、粘り強く指導に取り組む。</li> <li>・積極的にボランティアに参加できる生徒を育てていく。</li> <li>・「運動部活動の活動方針」の導入に当たり、現在の部活動の在り方を見直し、方針の趣旨に沿った部活動の運営を実施・検討していく。</li> <li>・部活動の統廃合については、現状維持できるよう努力していく。しかしながら、今後は、生徒のニーズはもちろん、地域の実態に合わせた検討も必要である。</li> <li>・生徒会や農業クラブ、家庭クラブなど本校生徒の活躍できる場面はたくさんあるが、それぞれの場所で自</li> </ul>

<p>あり、部活動全体に励みになって活動できていると思われる。</p>	<p>信を付けたり、居場所づくりを行ったりして、様々な場面で生徒がよい方向に変容していく仕掛けを作っていく。</p>
<p>5 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の皆さんが、社会にある職業を具体的に知る機会が少ないのではないかと感じている。いろいろな職業・職種を知った上で進路を考えて欲しいと思う。</li> <li>・学校幹旋での就職100%は素晴らしい。現状下でも企業訪問や説明会への参加、指導等、先生方の取組の成果だと思う。</li> <li>・職場見学や体験を1年から2年で計画的に実施して、3年につなぐようにするとよい。</li> <li>・全員の進路が決定したとのこと、素晴らしいと思う。</li> <li>・就職希望者決定率100%は生徒や本校に入学を考えている中学生には安心感があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大洲商工会議所、南予地方局、公共職業安定所が、地元若者を定着させるための事業に熱心に取り組んだことで、今年度も多くの就職希望者が地元企業への就職を決めた。応募前見学や就職セミナーに参加することで企業・職種をよく知ることができ、離職率も減少してきた。</li> <li>・地元企業の理解を深め、地域の企業の期待に応えることのできる人材の育成を目指す。</li> <li>・インターンシップの実施による職場理解、及び職種を理解することでミスマッチの防止に努める。</li> <li>・進路ガイダンスや講演会、応募前職場見学、企業訪問を充実させ求人確保に努め、生徒が希望する職種の選択肢を増やす。</li> <li>・本校生徒は、地域に育ててもらっているといっても過言ではない。今まで以上に地域の企業と連携を綿密にとり、地域が期待する人材の育成を目指す。</li> <li>・四年制大学希望者に対して、早期から志望校等の情報を与えるとともに、補習体制の見直しを図る。</li> <li>・11月に地元企業を中心として説明会を実施し、職業選択の機会を増やした。</li> <li>・1・2学年においてもインターンシップなどを検討していく。</li> </ul>
<p>6 農業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根差した活動の一環である農業祭を、コロナ禍の中開催されたのは立派だと感じた。</li> <li>・資格取得やコンテストなどを重点的に指導し、生徒の目標実現につなげるとよい。</li> <li>・農高ならではの強みを発揮できる教育内容なので、今後も力をいれていければよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対外的な行事やイベントを一部中止、または開催方法を変更した。農業祭は、平日午後に規模縮小・感染症拡大防止対策を行った上で、販売実習を中心に2日間実施した。来年度以降は、今後の社会情勢を踏まえて新たな形式での実施方法を検討していく。</li> <li>・農業クラブ活動においては、各種競技会・発表会が行われ、例年並みの成果をあげた。なお、全国大会は感染症不安のため参加を見送ったが、フラワーアレンジメントコンテスト（リモート開催）では、銅賞を受賞した。</li> <li>・一人一資格の取得を目指して、日々の学習に取り組んでいる。今年度は、対外的な活動が制限される中で資格取得に重点を置き、多くの資格を取得できた。</li> <li>・各種コンテストに積極的に応募し、その内容が評価され表彰されるなど成果をあげた。</li> <li>・農業高校に学ぶことに誇りを持つ生徒を一人でも多く育てていく。</li> </ul>
<p>7 環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃、美化活動については、力を入れており、訪問した際にも意識の高さがうかがわれた。</li> <li>・自然環境の大切さを、特色ある農高として、土や自然とふれあって体を通して育ててほしい。</li> <li>・美しい花々が咲き、とてもよい環境だと思うので、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の持つ特色を生かして、環境整備に努めていく。</li> <li>・国土交通省肱川河川事務所の河川愛護モニター活動を継続した取組が評価され、令和3年度国土交通行政関係功労者事務所長表彰を授賞した。今後も、継続して活動していく。</li> </ul>

<p>今後も美化につとめていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化委員の朝清掃や清掃5分前移動など落ち着いた学習しやすい環境づくりに努めている。今後も決められた時間を有効に使い、主体的に環境保護活動のできる生徒の育成に努める。</li> </ul>
<p>8 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の教材を活用した学習が積極的かつ効果的に行われている。</li> <li>・人権教育に力を入れておられるのがよくわかった（人権だより等での発信は大切だと思う）。</li> <li>・指定校としての研究に熱心に取り組んでおり、よく活動している（できている）と思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も2学年で歴史学習をする際には、地元教材を活用した授業を心掛け、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組ませる。</li> <li>・今後も「人権だより」や学校のホームページ等を活用し、学校の取組について発信し、家庭や地域への啓発に努めていく。</li> <li>・2年間の研究指定は終了するが、毎年、人権・同和教育年間指導計画を見直し、学校・地域の実態に対応した実践を継続していく。</li> </ul>
<p>9 情報教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流活動としてJAたいきの女性部とのWEBでの情報交換を実施していただき、感謝している。</li> <li>・ホームページに情報発信して活用を広げる。</li> <li>・ICTをとり入れるために研修会等の実施を進めていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も関係団体との交流を感染症の状況にもよるがWEBによって行えるように準備をしていく。</li> <li>・ホームページへの記事の投稿は多くの教職員ができるように研修会を行う。</li> </ul>
<p>10 図書指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体の図書について減少の傾向があるが、タブレット等を活用したペーパーレスでの図書教育もお願いしたい。</li> <li>・農高としての専門書利用で学力やスキルアップに取り組んでほしい。</li> <li>・読書は習慣なので、朝読書を全校で取組んでいるのはすばらしいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体の取組として、タブレットを用いた図書教育はできていない。今後、各教科との連携を図りながら、多様な形の図書館教育について研究していく。</li> <li>・選書の際、生徒や教職員の求める農業等の専門書を優先的に入れるようにしている。それらの資料が十分に生かされるよう、今後も働きかけを行う。</li> <li>・全校一斉の「朝の読書」の効果は大きいので、今後も継続していく。</li> </ul>
<p>11 学校保健・学校安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの関係もあり、学校内の衛生面には細心の注意を払われていると思う。</li> <li>・保健だより等の発行で意識を高めることができていることはすばらしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3密の回避、施設設備の消毒、実習前後の手洗い・消毒など毎時間徹底して行った。また、トイレの改修、空気清浄機の設置等も行い、施設面でも充実できた。今後も怠ることなく注意していく。</li> <li>・「保健だより」などの資料配布やホームページを通しての注意喚起により、感染症対策に努めてきた。今後も社会情勢を見ながら対策を講じていく。</li> </ul>
<p>12 学校行政</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備が充実しているようでよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も安心・安全な学校運営ができるよう、必要な施設設備の充実・早期修繕に努める。</li> </ul>